

米海軍横須賀基地ジャレット司令官、桐ヶ谷逗子市長とのオンライン会談

要請・情報交換

2022年（令和4年）1月7日（金）、午前9時から9時15分までの間、米海軍横須賀基地ジャレット司令官とオンラインにより、新型コロナウイルス感染症対策に関する「要請」と「情報交換」を行った。

米軍との確認事項

- 横須賀基地内の感染者数については、2週間前までは0人であったが、現在は200人を超える陽性者がいる。
- 陽性者の大部分は、年末年始の休暇においてアメリカに一時帰国していた者が、入国の際に空港検疫で陽性が確認された者である。陽性者は空港検疫後に米軍車両で基地に移動し、基地内の病院等で完全に隔離されている。
他には、東京に出かけた際に感染したと考えられる者もいる。
- 全ての陽性者は、米側の医療管理下にあり、厳格に管理されている。
- 感染者の症状は軽症である。重症者はいない。
- 米軍池子住宅地区内においては、4家族の陽性者を確認している。全員、部屋で隔離しており、一切外出することは出来ないため、米軍池子住宅から逗子市内に広がることはない。また、米軍池子住宅地区以外の逗子市内に居住する米軍人については陽性者はいない。

米軍への要請事項

- 米側としては入国者に対し、厳しい措置を実施しており、また、陽性者については厳格に管理しているとのことだが、本市からも基地内での更なる感染拡大防止の徹底をお願いする。